

MESSAGE

センター長 挨拶

工学は人間の幸福な生活に奉仕する技術の研究・開発を使命として、私たちの暮らしを便利で快適なものにし、多くの夢を実現してきました。しかし近年、人々の求める理想的な暮らしの姿がずいぶんと変わり、数値化しにくい多種多様な質的価値が幸せの要件としますますます強く意識されるようになっていきます。

ものづくりで人に奉仕する工学も新たな価値に寄り添うように、より繊細で柔軟なそして感性的なものへと自ら変わっていく必要があります、これまで少数派であった女性の感性や視点を取り込んで行くことが工学の未来を切り開く上で重要であるという認

識が急速に広がっています。

こうした状況の中、名古屋工業大学は文部科学省の平成26年度科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業（一般型）」に採択され、昨年12月1日、「男女共同参画推進室」を発展的に解消して、「男女共同参画推進センター」を発足させました。

今後、包括的な支援を推し進めるとともに、ポジティブアクションの積極的発動により、女性限定公募の実施、新規常勤教員採用時の女性比率20%、テニュアトラック教員採用時の女性比率25%などの目標を掲げ、その確実な達成を目指します。



男女共同参画推進センター長
藤岡伸子

名古屋工業大学男女共同参画推進センターはまだ発足したばかりですが、女性研究者がその能力を遺憾なく発揮できるような研究環境作りに邁進してまいります。

POLICY

名古屋工業大学男女共同参画推進宣言

名古屋工業大学は、「ものづくり ひとづくり 未来づくり」という教育理念を目標に掲げ、グローバルに活躍する「実践的工学エリートの養成」を目指しています。あらゆる多様性が重視される今、この目標を達成するためには、工学の世界で長らく少数派であった女性研究者・技術者が、性別に関わりなく個性と能力を発揮できるような環境の整備と意識の変革が不可欠です。

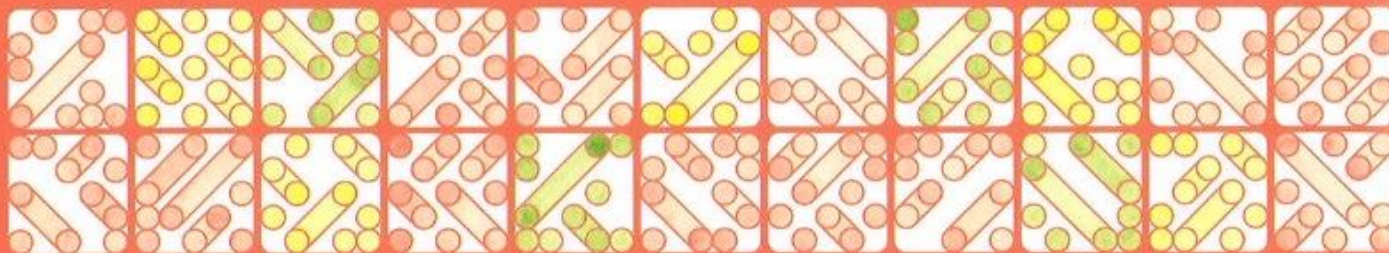
本学では、平成21年1月に学長直轄の組織として「男女共同参画推進室」を設置し、取り組みを開始しました。また、平成26年度には、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業（一般型）」の採択を受けて、従来

の施策の大幅な拡充と女性研究者の研究環境整備の加速を図るため、教職一体組織の「男女共同参画推進センター」を発足させました。実施体制が整った現在、本学は、ダイバーシティの推進が工学の活性化とイノベーション創出の鍵であるという明確な認識の下、より多くの優れた女性技術者を産業界へ送り出すこと、そして、より多くの女性研究者を工学コミュニティの重要な一員として招き入れ、その活動を弛まず支援することを重要課題と位置付けています。

この理念・目標を踏まえ、名古屋工業大学は、男女共同参画社会の実現に貢献するため、以下の基本方針を掲げて積極的に活動することを宣言いたします。

基本方針

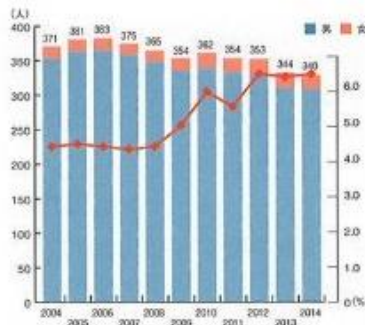
1. ポジティブアクションとして、女性限定公募等を通じた女性研究者の増加を図るとともに、女性教職員の上位職への積極的登用を進める
2. 女子学生比率を向上させ、優秀な女性技術者を育成する
3. 男女共同参画の視点に立った教育・研究環境の整備を行う
4. 男女共同参画を促進する労働環境の整備を行う
5. 参画に関する啓発活動を積極的に実施する



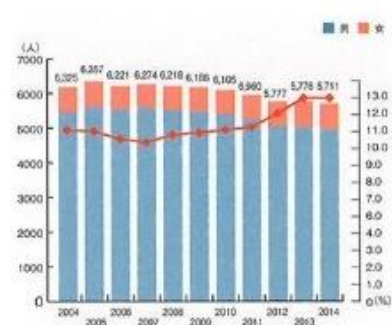
STATUS

現状

本学の正規の教員として雇用されている助教以上の女性教員は全体の6.5%、研究員等も含む女性研究者は10.0%と非常に少ないといえます。さらに、ライフイベント期の若手女性研究者の多くが、研究とライフイベントの両立に関して大きな不安を感じており、将来的に両立をめざす自信を持っていないことが聞き取り調査から明らかになっています。



男女別教員数の変遷

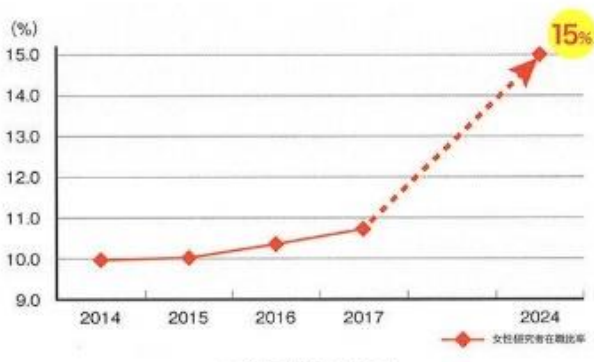


男女別学生数の変遷

GOAL

目標

事業期間内に女性限定公募を実施し、平成28年度末には女性研究者在職比率10.3%とします。そして平成29年度末までに、在籍比率を10.7%まで向上させます。平成26年度の事業開始から4年以内に計9名の女性研究者採用を目標とし、これらの新規採用者は85%以上を理工系とします。これにより、ライフイベント期の支援のみならず、若手女性研究者が将来、研究とライフイベントを両立させ安心して研究を継続的に実施できるよう、要望に応じて支援します。この支援により、今後ライフイベントを遅く乗り越え、指導的役割を果たせる研究者へと成長して欲しいと考えています。



女性研究者在職比率

ORGANIZATION

男女共同参画推進センターの組織体制

工学系は理系の中でも最も女性研究者の割合が少なく、新しい時代の工学を担うべき女性研究者を増加させその活躍を支援することが今強く求められています。

少数派で孤立しがちな女性研究者が居心地よく感じ安心して研究に進捗できる環境づくりが、名古屋工業大学男女共同参画推進センターの重要な仕事です。

本センターでは現在①【女性研究者支援】②【問題発見・解決】③【女性研究者コ

ミュニティ形成支援】④【企画広報・裾野拡大】の4つをミッションとして活動を行っています。各ミッションには、男女共同参画に高い意識を持つ女性研究者を1名ずつミッションリーダーとして配置することにより、当事者が自身の研究環境の改善について検討し、実効性の高い問題提起や改善提案が行える仕組みとしています。



ACTIVITIES

主な活動内容

女性研究者支援

研究支援員の配置
研究業績向上への直接的支援

女性研究者を支援する研究支援員として、本学OGを起用し、彼女たちが本学で培った専門性を活かした高度な支援を実現できる仕組みとして「OG人材バンク-i-ネット」を発足させました。今後は広く名工大OGの情報を蓄積し、本学女性卒業生の同窓会コミュニティとして豊かな情報交流の場となることを目指しています。その他、研究業績向上のため、英語論文校正援助、英語論文・プレゼンテーション指導などの直接的支援も実施しています。

問題発見・解決

ワークライフバランス相談室

ワークバランス相談室」を新たに設置し、あらゆる悩みに対する相談・問題解決を担うワンストップ窓口を目指しています。専属の相談員が研究とライフイベントの両立、子育てや人間関係などあらゆる悩みのインタビューを行い、必要に応じて連携組織とも常緑して迅速な問題解決を図ります。

女性研究者コミュニティ形成支援

交流サロン i-café
セミナーや交流会の開催

各部局に分散して孤立しがちな女性研究者同士が気軽に交流できる快適な場と機会を設け女性研究者コミュニティ形成を推進します。また、女性研究者の交流会だけでなく、各種セミナーやサイエンスカフェの開催など、専門分野を横断した研究者と学生やOGの交流の場となることを期待しています。

企画広報・裾野拡大

学内外への広報活動
女性が拓く工学の未来賞

リーフレット、ウェブサイト等で広報活動を展開し、女性研究者支援策を学内外へのアピールしています。また、優れた研究業績を有する若手女性研究者を対象とした「女性が拓く工学の未来賞」を創設し、研究活動の活性化と本学女性研究者の活躍の広報を図ります。また、この賞を通じて女子学生が将来研究者としての進路を考えるきっかけにもなると期待しています。

REPORTS

活動報告

2014年12月22日 開所式

学長をはじめ理事2名、事務次長らが列席する中、センター長以下教職員と協力教員が集い、新しいセンターの発足を祝い、今後の活動実施への決意を新たにしました。



2015年1月24日 平成26年度女性研究者研究活動支援事業キックオフシンポジウム

学内教職員をはじめ、一般の方、約100人にご参加いただきました。

開会の挨拶として、本学の鶴飼裕之学長から、本事業採択の喜びと責任、そして「女性とともに活躍」していこうという意欲的な言葉が語られました。

文部科学省科学技術・学術政策局 人材政策課長片岡洋氏による基調講演では、女性研究者研究活動支援事業の概要、好事例の紹介は、事業を採択された本学に



とって有益な情報となりました。

最後に行われたパネルディスカッションでは、コメンテーターに片岡氏、パネリストには、豊橋技術科学大学大学院教授中野裕美

氏、本学大学院教授浜田恵美子、同教授秀島栄三を迎えました。ここでは、ロールモデルの存在により、キャリアパスを明確化させることが学部、大学院ともに女子学生の増加につながり、ひいては女性研究者が確保できるという道筋が示されました。



はじめまして！ 彩綾～SAYA～ です

名工の女子って少ししかないのに先輩・同級生・後輩との接点が少ない・・・

部活に入ろうと思ったらマネージャーばかり・・・

気づいたらいつもいるメンバーと過ごす毎日・・・

リケジョが動くとどんنادらう・・・

そんな名工の女子だからこそ、名工女子のためにできることがあるんじゃないかな？

そんな想いから、名工大女子学生団体『彩綾～SAYA～』を2014年10月に結成し、名工女子の、名工女子による、名工女子の為の活動をしています！！

情報誌の発刊や女子向けのイベントを運営することで、名工女子にとって有益な情報を発信し、名工女子同士の交流が深まるようなぎっかけ作りの場を提供を目指しています！！

また、彩綾～SAYA～主導でOG交流会を開くなど、これからのリケジョの働き方やキャリア設計を考え、名工女子全員が、名工女子でよかったと、胸を張って卒業できるような環境作りを目指していこうと考えています。

「女性技術者との交流会」開催

2015年1月20日に、「女性技術者との交流会」～女性技術者と座談会形式で話を聞こう！～を開催しました。



女性技術者のみなさんは、アイシン精機株式会社、トヨタ自動車株式会社、トヨタホーム株式会社、日本ガイシ株式会社、日本メナード化粧品株式会社からご参加いただきました。



名前の由来

名工女子が輝くために・・・

彩・・・いろんな色(学科・学年)の名工女子が
綾・・・綾織のようにしっかりと繋がる



将来のキャリアを考える上で、女性技術者のみなさんの働き方や考え方など、多くの学びを得るとても良い機会となりました。

INFORMATION お知らせ

2月2日 ホームページをリニューアルしました。

本学の男女共同参画に関わる内容やイベント情報を随時更新しております。ぜひご覧ください。
(<http://www.nitech.ac.jp/gender/>)

4月1日 男女共同参画推進センターが引越します。

11号館2階に事務室、3階にi-caféとワークライフバランス相談室が設置されます。みなさまお気軽にお立ち寄りください。

発行 名古屋工業大学男女共同参画推進センター

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町 TEL | 052-735-5121

URL | <http://www.nitech.ac.jp/gender/> E-MAIL | danjokyodo@adm.nitech.ac.jp